

## インドネシアにおける森林管理政策・ 制度の現状と課題に関するセミナー

- インドネシアでは1998年以降、地方分権化に伴う混乱などで違法伐採や森林の劣化が進行したが、森林管理政策の改善が進み、安定をみるようになった。現在では森林管理区（KPH）やインドネシア木材合法性証明制度（SVLK）などの先進的な森林管理や林産業への政策・制度が導入されつつあり、他のASEAN諸国にも影響を及ぼしつつある。
- またインドネシアはREDD+に関し、東南アジアで最も制度構築が進んでいる。
- 日本においては2016年5月に合法木材促進法が成立し、輸入された木材についても合法性の証明とその執行状況の確認が求められるようになりつつある。この結果、木材流通・加工、住宅建設事業者や、林野庁などの行政関係者の間で合板の主要な輸入元のひとつであるインドネシアの森林管理の実態についての関心が高まっている。
- このため、インドネシアをはじめとする東南アジア諸国の自然資源管理に関心をもつ研究者、NGO、企業などを対象に、インドネシアの森林管理政策・制度の現状と課題についてのセミナーを行う。

### 招聘者

- **Agus Sutiyarso**（Certification Body for Indonesian Forestry Professionals議長、元ガジャマダ大教授）
- **Bramasto Nugroho**（ボゴール農大林業学部森林管理学科教授）

### 東京会場（会場は検討中）

主なトピック: インドネシアの合法木材制度とその執行のための取組、REDD+政策の現状

他の発表者

- 鮫島弘光
- 三柴淳一（FoE Japan）

### 京都会場（京都大学東南アジア研究所）

インドネシアにおける新たな森林管理政策  
他の発表者

- 北山兼弘（京都大学大学院農学研究科）など
- 東南アジア研究所の頭脳巡回プログラムのワークショップと連携？